

## 東京医師アカデミー修了式を開催しました

3月8日（金曜日）、新宿区立角筈区民ホールにおいて東京医師アカデミー修了式を執り行いました。今年度は、クリニカル・フェロー4名、サブスペシャリティレジデント7名、シニアレジデント65名の計76名が研修を修了しました。

式典では、代表者3名に修了証書が交付された後、堤病院経営本部長からの式辞として、「東京医師アカデミーの研修で身につけた総合診療能力と専門能力を活かして、皆さんが将来日本の医療界をリードする医師として活躍されることを祈念します」との言葉が送られ、多摩北部医療センター 鈴切 恒平 医師が、修了生を代表して「東京医師アカデミーで学んだ事を忘れることなく、今後も更なる研鑽に励んでいきたいと思えます」と答辞を述べました。最後に、古賀医師アカデミー運営委員会委員長から修了生へ「医学の道は長く、この先まだ毎日が勉強の連続となりますが、医療を取り巻く環境が刻々と変化する中でも、医療の質・専門医の質を維持しつつ、社会から信頼を得て社会的な責任を果たせる立派な医師を目指してください」と激励の言葉が贈られました。

閉式後には、各病院の院長、副院長から、当日出席した修了生全員に修了証書が交付されました。今回修了を迎えられた先生方が、それぞれの現場でご活躍されることを期待しております。



多摩北部医療センター 鈴切医師による答辞